



# 町長の行政報告を お知らせします

八峰町3月議会定例会が5日から20日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

**3月議会定例会に  
提出した主な議案**

- △専決処分事項の報告について
- △八峰町課設置条例の一部を改正する条例制定について
- △地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例制定について
- △八峰町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について
- △八峰町立八森体育館条例の一部を改正する条例制定について
- △八峰町介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- △ふるさと八峰応援基金条例の一部を改正する条例制定について
- △八峰町定住促進空き家活用住宅の管理運営に関する条例制定について
- △平成26年度一般会計補正予算1億9,553万円6千円を追加
- △主な歳出
  - 財政調整基金積立金、ふるさと八峰応援基金積立金、地域住民生活等緊急支援事業、国民健康保険特別会計への繰入金
- △平成27年度八峰町一般会計及び各特別会計予算

※内訳は2〜3ページ参照

## 町人口減少対策会議を開催 新年度は住民の意見を反映

少子化人口減少対策について、中堅、若手役場職員によるプロジェクトチームから提案された、起業・雇用対策、子育て支援策、住宅環境対策などについて、町少子化人口減少対策会議を開催し、新年度予算に反映させるもの、今後の検討課題とするもの等に分類するなどの協議を行いました。



人口減少対策セミナーでの意見交換の様子

また、1月27日には、株式会社ふるさと回帰総合政策研究所代表取締役社長で国の地域活性化伝道師として活躍の玉田樹氏を講師にお招きして「人口減少対策セミナー」を開催し、八峰町の産業振興策及び移住・定住促進対策について、貴重なご意見、ご提言を頂きました。新年度において、人口減

## 軽度生活援助事業 利用者から好評

少克服と地方創生を目的とした「八峰町版総合戦略」を策定することとしていますが、その策定に当たっては、これまで検討してきた少子化人口減少対策の各施策案や議会、商工会、玉田先生などからのご提言も参考に、住民代表や産業団体、金融機関などで構成する委員会で協議していただくなど、広く関係者の意見が反映された計画にしたいと考えています。

軽度生活援助事業は、高齢者のみで世帯や65歳以上の単身世帯で利用ができる事業で、本年度の台帳登録者は120名、1月末の実績では189件の利用がありました。このうち除雪に関する利用は183件と大半を占めています。この事業は八峰町社会福祉協議会に委託して行われています。1回につき100円の利用料で、作業時間も確保しながら実施しており、利用者には概ね好評をいただいています。今後は、冬期間の除雪作業だけでなく、家周りの手入れなどの作業についても周知しながら、利用促進に努めます。

## 新年度から町営診療所本院で 毎日診察可能に

内科診療所の常勤医師の確保につい

これらの申し込みを受け、現在、農業委員会が貸し手側と借り手側のマッチング作業を進め、賃借料など諸条件の協議を進めているところです。今後、貸し手側8戸の水田8・5ヘクタールが、7戸の農家に貸し出される予定となっております。

## 今年の積雪量は平年の2倍〜3倍 除雪機械フル稼働

今冬の除雪についてですが、12月初旬から寒波が続く、八峰消防署の12月の観測では、一日の降雪量が10センチメートル以上の日が7日、積雪量が20センチメートルを超える日が3日になっています。平年の2倍から3倍の降雪量になっていますので、除排雪と凍結防止剤の散布で、除雪機械はフル稼働となりました。

## 統合小中学校校章デザイン 最終決定を待つのみ

学校統合協議会について報告します。新設小学校及び新設中学校の校章デザインの募集を行ったところ、1月15日の締め切りまでに小学校については30点、中学校については38点、合わせて68点の応募があり、一般公募としたため、町外からも26点応募がありました。1月28日開催の協議会では、分科会でまず候補を絞り全体会で最終的な決

## 産業振興で雇用を創出し 少子高齢化に歯止めを

では、まだ確保の目途がたっていないが、受診環境改善の一環として、現在の週5日体制の中で診療時間を増やすことで、山本組合総合病院の三木医師に協力をお願いしたところ、水曜日に担当することが可能となり、これにより新年度から町営診療所本院で毎日午後から診療が可能となります。



今年1月に開催された産業振興会議の様子

産業振興は、人口減少・少子高齢化対策の中で大きなウエートを占めるととらえており、今年1月に起業等の相談窓口の一本化と支援団体の連携を図るための「八峰町起業等応援隊」を設

定をすることとしました。制服・運動着については、両中学校から検討委員を選び、その検討委員会においてデザイン並びに業者選定のための作業を行っていくこととなりました。来年四月の開校までの期間は1年と限られています、その期間内で統合のための準備をしっかりと進めていきたいと考えています。



八峰中学校となる現在の峰浜中学校



峰浜小学校となる現在の水沢小学校